

(様式3号)

# 農業主導型6次産業化支援整備事業点検評価書(平成22年度分)

地方農政局等名
農林水産省経営局

6次産業化法人の名称	設立年月日	代表者名	構成員数
ノースブレインファーム株式会社	昭和63年12月15日	大黒 宏	11名
主たる事務所の住所	紋別郡興部町北興116番地の2	TEL	セキュリティに配慮し、 非公開といたします。
		FAX	

## 1 事業の実施状況に対する所見

<p>[取組状況について] 平成22年度は、東日本大震災に起因する資材入手難による工事の遅れにより、農畜産物販売施設の整備工事、農畜産物加工施設への機械設備導入を行うのみにとどまった。平成23年度から本格的に稼働している。</p> <p>[経営状況、事業による変化等について] 施設稼働が平成22年度中に間に合わなかったため、本事業による変化はみられないが、既存事業(生キャラメル)の販売不振による売上高の減少等がみられる。</p>
--

## 2 成果目標の達成状況に対する所見

項目	所見
(所得の向上に関する目標) 売上高について	農畜産物販売施設の開業が平成23年度に繰り越したため、平成22年度の売上高に当事業分は反映されていない。これに加え、既存事業(生キャラメル)の売上が大きく減少したことにより、平成22年度の目標を達成できなかった。
(雇用の創出に関する目標) 雇用の増加	農畜産物加工施設の稼働が平成23年度に繰り越したため、当事業による雇用の増加実績はない。一方で、売上が減少したことにより、期間中に退職した従業員の補充および増員を行わなかったことで、平成22年度の目標を達成できなかった。
(地域の活性化に関する目標) [来町者の増加]	生キャラメルブームの終焉や、ガソリン価格の高騰、高速道路無料化実験による他地域との集客競争等により、前年度に比べて減少し、平成22年度の目標を達成できなかった。

## 3 施設等の利用状況についての所見

<p>[農畜産物販売施設について] 平成22年度は、東日本大震災に起因する資材入手難による工事の遅れにより開業が間に合わなかったため、利用実績はない。</p> <p>[農畜産物加工施設について] 平成22年度は、東日本大震災に起因する資材入手難による工事の遅れにより稼働が間に合わなかったため、利用実績はない。</p>
---

## 4 6次産業化法人と連携法人の取引状況についての所見

--

## 5 改善措置等に対する所見及び指導内容

### (1) 成果目標について

#### [売上高について]

売上を大きく落とす原因となった、生キャラメルに依存した売上構造から脱却し、平成23年度から本格稼働している事業による新商品の導入、取扱品目、大口取引先の拡大を推進することにより、売上増加を目指している。引き続き、目標達成に向けた取組を推進する必要がある。

#### [雇用者の増加について]

平成23年度は施設の開業に伴い、新規雇用を増やしている。引き続き、目標達成に向けた取組を推進する必要がある。

#### [来町者の増加について]

農畜産物販売施設の開業により、団体客の受入が可能となった。すでにゴールデンウィークや夏期の多客時には威力を発揮しており、順調に増加している。引き続き、目標達成に向けた取組を推進する必要がある。

### (2) 施設等の利用状況について

#### [農畜産物販売施設について]

平成23年度の施設の開業後は受入可能人員が増えたメリットを活かし、団体ツアー客の誘客といった取組を行っており、売上増加が見込まれている。引き続き、目標達成に向けた取組を推進する必要がある。

#### [農畜産物加工施設について]

平成23年度の施設の稼働後は、当該施設で生産する主力商品となる「発酵バターケーキ」の拡販、その他新商品の開発に注力することにより、製造量の増加が見込まれている。また、乳製品製造量についても、ヨーグルト関連の新商品の大口取引先での採用が決まっており、増加が見込まれている。引き続き、目標達成に向けた取組を推進する必要がある。